

「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」

第9回全体会議・ワークショップの概要

日 時 平成22年1月9日(土)午前9時04分~11時52分

会 場 庁舎4階 会議室403

出席委員 飯島、五十嵐、内山、遠藤、金子、神田、日下、古嶋、櫻井、嶋津、野口、橋本、
(敬称略) 平田、広辺、藤巻、松井、吉野

学識経験者 牛山教授

事務局(町職員等) 折原、鈴木、岩楯、神田、山岸、高山

配布資料 別添のとおり



1 本日の内容

(1) 全体会議

ア 各グループから、「作業部会」のメンバーを以下のとおり2名ずつ選出した。

Aグループ	神田副会長、金子委員
Bグループ	遠藤委員、広辺委員(広辺委員が出られない場合は五十嵐委員)
Cグループ	内山会長、日下委員(日下委員が出られない場合は古嶋委員、古嶋委員も出られない場合は吉野委員)

イ ワークショップで行う、条例の素案に盛り込む項目案の大項目「総論」の中項目(理念、目的、〔定義〕)について、具体的な中身(内容)をどうするか、またそれを挙げる理由(考え方)について議論を深める作業の内容を確認した。

(2) ワークショップ

ア ワークショップに入る前に、「理念」、「目的」及び「定義」にはどのような内容が書かれるかについて、牛山教授から法制上のアドバイスをいただいた。

理念	内容	条例で掲げる理念(考え方)についての項目
	例	目指すべき姿やあり方、自治というものは何か、個人の尊厳の尊重をどうするか、地方分権の状況 など
目的	内容	「条例」の目的についての項目
	例	理念で掲げた中身の実現や、自治の考え方の実現についての項目。前文(つくる会では、最後に議論)や理念に書かれる内容を要約して実現するもの。など
定義	内容	使用する語句に特別の意味を持たせるため、定義を要する場合に定める項目
	例	この条例で対象とする人をどう定義するのか、「協働」とはどのような意味で使うのか など

(注)・「理念」と「目的」は混合しないよう注意する。

・本日は、時間に余裕がある場合に「定義」の内容をどうするかについて議論することとする。

イ 各グループに分かれて、全体会議で確認した作業内容のとおりワークショップを行った。

「理念」、「目的」に入れたい内容や表現（文章化したもの）、考え方について各グループから以下のとおり中間発表がなされた。（敬称略）

Aグループ	神田（発表）金子、野口、橋本、平田、松井
理念 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・「住民に開かれた行政運営を行い、住民は、行政に参画、協働して新しい公共の原則に基づき、共に公共の領域を担い、地域社会を築いていく」 ・「出会い・ふれあい・助け合いの住民協働による真に開かれたまちづくりを目指す」 ・「持続可能な地域社会の維持および形成、住民自らの意思と責任に基づき参画し、住民一人ひとりが尊重される民主的で自立した社会の実現を目指す」
目的 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・「この条例は白岡町の自治の基本理念と町政運営及びまちづくりの基本原則を定め、あわせて住民の権利義務、行政・議会などの責務を明らかにし、協働によるまちづくりの方向を地方自治の本旨にのっとった自治を確立することを目的とする。この条例は白岡町が定めた最高規範であり、白岡町の条例は全てこの条例に適合しなければならない。」
Bグループ	遠藤（発表）五十嵐、櫻井、広辺、藤巻
理念 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・協働と情報の共有を表題に書くと良いのではないか。 ・「人は公的な存在であり、公共について考え、他者と関わり、地域と関わり、人に優しい町のことを気にする町民を実現する」 ・住民が自分の役割を持っていないのが現状。出来る範囲で役場の仕事を積極的にやっていく必要がある。 ・キーワード「新しい価値観」、「白岡町にいる人として新しい『個人』をつくりたい」 ・情報の共有については、活字、電子媒体にしか目が向いていなく、フェイス to フェイスで広く届けられるような手法が必要である。
目的 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード「自治の基本理念」、「自立した地域社会」 ・つくる会全体で自治の基本理念や自立した地域社会についてあまり議論していないので、メンバーの考えのズレを調整したほうが良い。 ・「こころ豊かで、他人にやさしい、誰でも住みたくなる、魅力あるより良いまちづくり」
Cグループ	古嶋（発表）飯島、内山、日下、嶋津、吉野
理念 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は、前文との関係でどのように書くか。 ・キーワード「先人の努力に対する敬意」、「目指すまちづくりの方向性」、「人権の尊重」、「自主自立の地域自治」、「次世代への継承」、「さらに進化する時代」など ・「先人の積み上げてきた自然、環境、文化、伝統を尊重しながらさらに進化する時代に対応した新しい文化を築き上げていく」、「町民ひとりひとりの人権が尊重され自らの意思と責任において自己決定する」理念には、この2つが入っていれば良い。
目的 キーワード、文章化、 考え方（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を具現化することを書いておく必要がある。 ・「自分たちの町は自分たちの手で築くという自治の精神を町民・議会・行政で共有し、真に開かれたまちづくりを目指す」

詳細については、議事録を参照してください。

なお、中間発表を踏まえて各グループがまとめたものを作業部会が集約し、次回の全体会議で整理することとする。

(3) その他

ア 白紙のシートを配付するので、次回のワークショップで行う、条例の素案に盛り込む項目案の大項目「(住民)市民」の中項目(住民〔定義〕、権利、責務)について、具体的な中身(内容)をどうするか各自考えてくる。

イ 今後の会議の日程(時間及び会場)に変更が生じた。 網掛け部分

回	日	時間	会場
第10回	1月24日(日)	午後1時30分~4時30分	はびすしらおか6・7
第11回	2月20日(土)	午後1時30分~4時30分	会議室403
第12回	3月6日(土)	午前9時~正午	会議室403
第13回	3月20日(土)	第13回については、変更なし。	

ウ 本日の会議終了後、作業部会の進め方を打ち合わせるため、第1回作業部会が行われた。

2 次回の日程

平成22年1月24日(日)午後1時30分から、はびすしらおか会議室6・7で行う。

（仮称）白岡町自治基本条例（白岡町まちづくり条例）をつくる会
第9回全体会議及びワークショップ

1 日 時 平成22年1月9日（土）午前9時～正午

2 場 所 町役場4階 会議室403

3 内 容

全体会議では、「作業部会」のメンバーを選出した後、本日のワークショップで皆さんが行う作業内容の確認を行います。

今回のワークショップから、「条例の素案」の具体的な中身（内容）の議論に入ります。

4 プログラム

時間の目安	内 容
9:00	開会
9:00～ 9:10	あいさつ（「つくる会」内山会長・折原町民活動推進課長）
9:10～11:50 （適宜休憩）	1 全体会議（議長：内山会長） (1) 「作業部会」のメンバーを選出します。 (2) 「中項目」を確認した後、本日の「ワークショップ」で行う作業内容について、事務局から説明を行います。 2 3グループによるワークショップ ※作業内容については、裏面のとおりです。 (1) 条例の素案の大項目「総論」の中項目（理念、目的、〔定義〕）について、その内容や理由（考え方）について議論します。 (2) グループごとに発表します。
11:50～12:00	事務連絡
12:00	閉会

ワークショップの進め方

本日のワークショップから、「条例の素案」の具体的な中身（内容）とその理由（「なぜその内容を盛り込みたいのか」）等について議論します。

この作業は、条例の素案に挙げる「内容」や「理由」などを具体的に作成していくもので、「条例の素案」が町民の皆さんに理解してもらえるものになるかどうかを左右するものになります。

「総論」の中項目（理念、目的、〔定義〕）の内容はどのようなものになるの？

【理念】 自治やまちづくりの目標、進め方、基本原則等について明確にする項目です。 例これから目指すべきまちの姿（理想） など

【目的】 理念を実現するために、「条例」を何のために制定するのか、「条例」で何を指すのかについて明確にする項目です。

【定義】 「条例」で使用する語句の意味を正確に伝えるための解説になります。

* * * * *

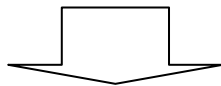
【「総論」の中項目（理念、目的、〔定義〕）の具体的な内容等について】

大項目「総論」で挙げた中項目「理念、目的、〔定義〕」の具体的な中身（内容）とその理由等について話し合います。

議論した内容等について、「別紙9」に記録します。

「具体的にどのような内容（中身）を盛り込みたいのか」、「なぜその内容を盛り込みたいのか（目的、理由、背景等）」について話し合ってください。

書記の方は、項目1つにつき1シートを使用して「別紙9」に記録してください。



どのような議論を行ったか、どのような理由からその内容を盛り込みたいのかなど、その理由と内容について発表を行います。

の作業の経過や結果等について、グループごとに発表してください。



「別紙9」を提出して終了です。
おつかれさまでした！



大項目	中項目	備考
前文	立地 まちの目指す姿 現況	
I 総論	理念 目的 (定義)	
II (住民)市民	住民(定義) 権利 責務	
III 住民協働	定義 みんなでまちづくり 住民参画のしくみ	
IV 行政	行政の責務 町長の責務 職員の責務 (行政組織のあり方) (財政)	
V 議会	議会の責務 議員の責務 (町政の監視と報告義務)	
VI 地域自治・コミュニティ	行政区(自治会) 地域活動 行政区の役割と責務	
VII 情報公開・情報共有	範囲 公開と提供の原則(罰則) 共有のしくみ	
VIII (住民投票)	意義 範囲 制度 住民の参画(住民投票)	
IX まちづくり	タウンミーティング 計画 安心安全 ボランティア 産業 福祉 環境	
X 教育・次世代・子育て	子育て 生涯学習	
XI 改廃	改廃	

条例の素案に盛り込みたい項目とその考え方(理由)シート (H . . 現在)

1 大項目	市民
2 中項目	市民の責務
3 小項目(あれば)	
4 盛り込みたい具体的な内容・表現・趣旨など 完全な条文形式とする必要はありませんが、 <u>文章化してください。</u>	
市民は、お互いにまちづくりへの参加を促し合う必要がある。	
5 その理由(考え方・説明・意義など)・盛り込むことの目的(理由・背景) ・目標とする状態・姿、現状分析・課題・方向性 など	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民も、行政任せではなく、まちづくりに参加しなければ「よいまち」にはならないのではないかと。 ・明文化することにより、一人ひとりが自覚、意識することにつながり、自立することになる。 	
6 議論の経過・経緯の記録	
<p>「コミュニティの機能が希薄な中で、参加を促し合うことまでできるのか」という意見があったが、少しでも多くの市民に主体的にまちづくりに取り組んでもらいたいので、行政からの呼びかけだけでなく、市民がお互いに参加を呼びかけあい、自分たちでできることは自分たちで取り組むのだということを、コミュニティの活動の場から意識してもらう必要があるという議論から、あえて市民の責務として盛り込むこととした。</p>	
7 今後、検討すべき事項・注意すべき点など ・残された課題(結論が出なかった事項) ・今後も継続して議論を要する事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティ」や「住民協働」の内容と連動して考えなくてはならない。 ・どこまでのレベルで参加を促すことを考えるか。 	

このシートを提出してください。

「つくる会」が作成する 「条例の素案」のイメージ

町長へ提出する、「つくる会」としての最終の形のイメージ

第 章 市民

第 節 市民の責務

市民は、法令等に規定された義務を遵守しなければなりません。

市民は、行政に強い関心を持ち続けるように務めなければなりません。

市民は、まちづくりに参加する際、公共性の視点を持って行動しなければなりません。

趣旨

本条項は、………に向けて取り組む際の………を明らかにしたものです。

考え方

について

ここでいう「法令等」とは や を含みます。これは………することが………するためには重要だからです。

について

可能な範囲でまちづくりに参加してもらうために、行政だけではなく市民がお互いに参加を呼びかけあう必要があります。

について

参加する場合は、一部の人のためだけでなく、まちづくりという大きな視野を持ち行動する必要があります。

議論するポイント

ワークショップでは、「盛り込む具体的な『内容』は何か」、「なぜその項目を条例の素案に盛り込みたいのか（理由・考え方など）」などについて議論を深めます。

今後、**つくる会の委員のみなさんが**町民のみなさんに対して、条例の素案について、内容や考え方などを説明する際に、**理解してもらえるものになるかどうかを左右する**重要な議論となります。

そのためには、以下のような論点・視点を参考に、より広く深く議論する必要があります。

なお、話し合った内容を「別紙9」に記録し、提出してください。

論点・視点（例示）

- ・ 具体的な内容はどうするのか。それをどのように表現するのか。
- ・ なぜその内容を挙げるのか。（理由・考え方）
- ・ 誰もが理解できるか。用語を定義する必要はあるか。
- ・ まちづくりにどうつなげる（つながる）か。
- ・ 現状や課題はどうか。今後の方向性はどうか。
- ・ 住民・議会・行政がどうかかわり、協働していけばよいのか。
- ・ 無関心な人を巻き込んでいくためにはどのようにすればよいのか。 など

これはあくまでも「例示」ですので、いろいろな「場面」や「年代」、「時系列」、「地域性」などを想定し、さまざま論点・視点から議論してください。